



こましさ

平成29年
6月30日(金)
No.14

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしこく! たくましく!~

好天で暑い日が続きます。学校としては、フィールドワークや行事を行う上で大変ありがたいです。5年生の宿泊体験学習も、計画通りに進めることができました。今回の学習では、これまでにないほど感動的な場面に出会うことができました。すばらしい体験をした5年生の活躍と、課外活動のお知らせです。

宿泊体験学習

学校教育のねらいの一つは「子ども達に自立するための力をつける」ことです。その力をつける手立ての一つとして宿泊学習があります。毎年お知らせしておりますように、宿泊学習・林間学校などの自然体験教室は、主に次のねらいで行われます。

1. 普段と違う環境の中で生活することにより、学校生活では味わえない体験をする。
2. 協力して活動したり、自分で判断して活動したりすることにより、友情や自主、規律、忍耐などの素晴らしい感情や態度を育てる。

ねらい「1」については、それぞれの学校で活動内容を決め、取り組ませています。テント泊や野外炊飯、海辺の地域では釣りや地引き網等、山の地域では登山や木の実の収集等を行うことができます。また、宿泊するので星座観察などもできます。

今回は、入所の集い、テント設営、野外炊飯、トーチ棒づくり、キャンプファイヤー、竹細工、カヌー、プロジェクトアドベンチャー（以下PA）、ナイトハイク、退所の集いなどを行ってきました。また、4年生は、7月12日から1泊2日で田沢湖スポーツセンターで宿泊学習を行います。こちらは、入所の集い、駒ヶ岳登山、田沢湖でのカヌー、退所の集いなどを行います。熊騒動もありますが、8合目より上ではほとんど出遭うことがなく、山の案内人、市の総合防災課の方にも一緒に登っていただくのでご安心ください。登山は、本物の駒草を見せたり、眼下に広がる田沢湖の絶景を見せたり、雪渓を見せたりと、日常では絶対に見られない風景を味わわせることのできるプログラムです。また、カヌーも、講師を引き受けてくださるカヌー協会の方々が「田沢湖でのカヌーの景色は日本一だ!」と話しています。5年生になり、保呂羽山でのカヌー体験をするときも、2度目で自信をもって活動できます。ふるさと学習の一環としても、大切な学習と考えています。

自然体験の効果としては、自然体験が豊かな子どもほど「やさしさ」を身につけているという調査結果が出ています。

続いて、保呂羽山での実際の活動の様子です。

保呂羽山少年自然の家は横手市大森にあり、人里離れた山中です。テレビもゲーム機もない中で、自然に浸りながらゆっくりとした時間を過ごすことができます。もちろん、活動があればそれに取り組むのですが、一つ一つの活動にゆとりをもたせてプログラムを組むと、空いた時間は子どもたちが遊びを考えて過ごします。写真は、人間ピラミッドをつくって遊んだり、ペットボトルをピラミッド型に積んで遊んだり、ハンモックに寝たり（裏面）、坂を登ったり（裏面）と、楽しそうに遊び出します。この時間も大切な学習になります。



また、苦勞して作ったご飯はおいしく、格別です。普段給食を残しがちな子どももたくさん食べます。そして暗くなり、提灯の灯りを頼りに、山道を看板の目印を探しながら歩くナイトハイク。もちろん、事前にスタッフが、爆竹でコースへの熊の進入防止をしています。夜道に泣き出す子もいますが、グループで励まし合いながら到着します。さらに、友達と寝るテント泊、楽しくないわけがありません。笑顔をご覧ください。また、今回、キャンプファイヤーの時のスタンプの素晴らしいこと。毎年毎年レベルが上がっています。継続して取り組む効果が表れています。



ここまでは、毎年同じように見られるのですが、今回特に感動的だったのは、PAと退所の集いです。PAは、梅と桃の学級ごとに行いました。種目はいろいろあるのですが、場面はジャンボシーソーに全員乗ることができるかどうかのゲーム

の時です。バランスをとりながら学級全員乗るのはなかなか難しいものです。作戦を考え、協力することが必要です。梅組は順調に進んでいきましたが、桃組がトラブルってしまいました。心ない一言にある子がやる気をなくしてしまい、みんなだめて連れ戻そうとするのですが、頑として聞き入れません。一人の男の子が自分の体験などを語りながら、一生懸命説得します。その子の姿に回りの子どもたちも涙が止まらず、泣きながら声をかけ続けました。活動時間残り10分でようやく彼も納得してくれて再開しました。声のかけ方、協力の大切さ、学級への思いの強さなど、多くのことを学んだPAでした。

また、お別れの会では、お礼の言葉担当のK.さんが「たった3日間でしたが、色々な体験ができました。普段体験できないことを体験させていただき…」と言うと、感激と寂しさで泣き出してしまいました。それを見て、他の子も泣き出してしまい、号泣する子も…。我慢して立派な挨拶をするK.さん。所長さんや担任をはじめ、他の大人も次々ともらい泣きしてしまいました。最後に、金管バンド部の人たちが泣きながらも口伴奏をして、校歌を歌って帰ってきました。子どもたちの了承を得られたら、次号で感想などをお届けします。

課外活動のお知らせ

週末の大会がたくさんあります。応援をお願いします。

- ◇ミニバスケットボール 第30回東北電力旗秋田県大会大曲仙北予選
7月1日(土) 12:20～ 大仙市協和体育館 VS大曲と千畑の勝者
※ 勝ち上がると、8日(土)・9日(日)に試合があります。
- ◇剣道 第21回大曲仙北小学生学年別剣道大会
7月1日(土) 9:00～ 大仙市ふれあい体育館
- ◇陸上 平成29年度秋田県少年少女陸上競技大会(女子走り幅跳び 6年 F.さん)
7月2日(日) 11:00～ 秋田市八橋陸上競技場
- ◇バドミントン 第5回田沢湖スポーツセンター小学生バドミントン大会
7月1日(土)・2日(日) 9:00～
- ◇野球 第21回ろうきん杯学童軟式野球大会
7月1日(土)・2日(日) 第1試合 9:00～ VS中川
勝てば、2日9時から準決勝、1時頃から決勝